



ほし 星はどうしてきらきらと、またたくの

ちきゅう くうき 地球のまわりに空気があるから

くうき うちゅう と ほし み ほし
空気のない宇宙を飛んでいる、スペースシャトルから星を見ると、星は、きらきらと、またたいて見えると思いますか。

うちゅう み おも ほし ひかり てん み ちじょう
宇宙から見ると、星は、きらきらとまたたかず、ただ、光の点に見えるだけです。地上から見る星がまたたくのは、地球のまわりに空気があるからです。

くうきちゅう ほし ひかり せつ 空気中で星の光がくっ折するから

ちきゅう あつ くうき あつ くうき そこ ほし
地球のまわりは、厚い空気でおおわれているので、わたしたちは、厚い空気の底から星をながめていることとなります。

うちゅう すす ほし ひかり め はい くうき ところ
宇宙をまっすぐに、進んできた星の光は、わたしたちの目に入るまでに、空気のうすい所やこい所を通りぬけてきます。

このとき、ひかり ふくざつ せつ お ま ほし ひかり
光は、複雑にくっ折(折り曲げられる)します。そのために、星の光がきらきらと、またたいて見えるのです。

ほし ひかり さむ かぜ つよ ひ おお かぜ
星の光がまたたいて、きれいにみえるときは、寒くて、風の強い日が多いようです。風のつよ ひ くうき うご ほし ひかり かぜ
強い日は空気がゆれ動き、星の光が、風のないときよりも、もっと複雑にくっ折するので、それだけ星のまたたきがつよ
強くなります。(監修・国司 真)

